

びわこ空港等計画(案)に係る最終判断について

1 びわこ空港等計画(案)の白紙表明について

- (1) 「立ち止まって考える」とした総合的判断から10余年が経過
- (2) 国の方針(「空港については離島を除き新設を抑制する」)や先発する地方空港の厳しい状況などを総合的に勘案すると、近い将来、こうした状況が好転し、空港整備に再び取り組めるようになることは期待できない。
- (3) 長年にわたり、地域の中や集落の中、家族、友人の間においても、賛成・反対に別れての議論となり、まさに地域を二分するような状況

→ 以上のことから、「びわこ空港等計画(案)」については、白紙に戻すこととした。

2 最終判断に向けた地元への報告について

(1) 知事による地元説明(9月17日)

①東近江市長、市議会議長等に対する説明

(市の意見)

- ・ 現在の航空情勢等からすると、白紙の判断もやむを得ないことと思うが、当時はいろいろと努力してきたことでもあり、残念である。
- ・ 空港整備の推進に伴い生じた蒲生スマートインターチェンジ周辺の市有地の活用課題などについて、県も知恵を貸していただきたい。

(県の回答)

- ・ 空港整備を通じて目指していた地域経済の振興を図るため、中小企業振興などの産業振興施策を推進していく。
- ・ 課題解決に向け、市とも相談しながら、県として何が出来るのか検討したい。

②日野町長、町議会議長等に対する説明

(町の意見)

- ・ 現在の情勢では地方空港が出来る状態ではないことは共通認識である。県として、しっかりと総括をし、今後の公共事業の進め方の参考にしてほしい。
- ・ 白紙の判断もやむを得ないことと思うが、県の施策を推進するために汗をかいてきた。ずっと経過を見てきており、残念である。
- ・ 大変な議論をしながら取り組んできた。はじめとして、地元をしっかり説明していただきたい。
- ・ 今後、県と町が、日野のまちづくりに力を合わせていただきたい。

(県の回答)

- ・ 空港整備を通じて目指していた地域経済の振興を図るため、中小企業振興などの産業振興施策を推進していく。
- ・ 海外に売り込める滋賀の魅力の一つとして、農村と自然がある。そういう魅力を活かした取組を進めていきたい。

(2) 知事からのメッセージ(9月18日)

旧蒲生町および日野町の住民に対するメッセージを全自治会へ送付(別添資料参照)

(3) 9月議会における知事提案説明(9月18日)

提案説明(抜粋)

なお、新しい交通ビジョンの策定に伴い、「空港については離島を除き新設を抑制する」という国の方針や、先発する地方空港の厳しい状況などを総合的に勘案し、長年凍結としてきた「びわこ空港等計画(案)」については白紙に戻したいと考えております。

長年にわたり、地元の皆様に多大なるご心労をお掛けいたしましたことを心よりお詫び申し上げますとともに、地元の皆様の間には、このような決断を残念と思う気持ちがあることを承知しながらも、時代の趨勢の中での判断にご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

〈参考〉

これまでの経緯

- 昭和63年に蒲生・日野地区をびわこ空港の候補地として選定
- 平成2年に「びわこ空港(仮称)基本計画(案)」を作成し、平成3年に国の第6次空港整備五箇年計画(H3~7)に予定事業として組入れ
- 平成9年に計画案の見直しを行い「びわこ空港等計画(案)の概要」を作成
- この間、環境アセス等の調査が実施できるよう進めてきたが、地元の実情を踏まえ、平成12年に「立ち止まって考える」という総合的判断を行う
- 平成17年の財政危機回避のための改革プログラムにおいて、びわこ空港については凍結

■びわこ空港等計画(案)の概要(H9.7)

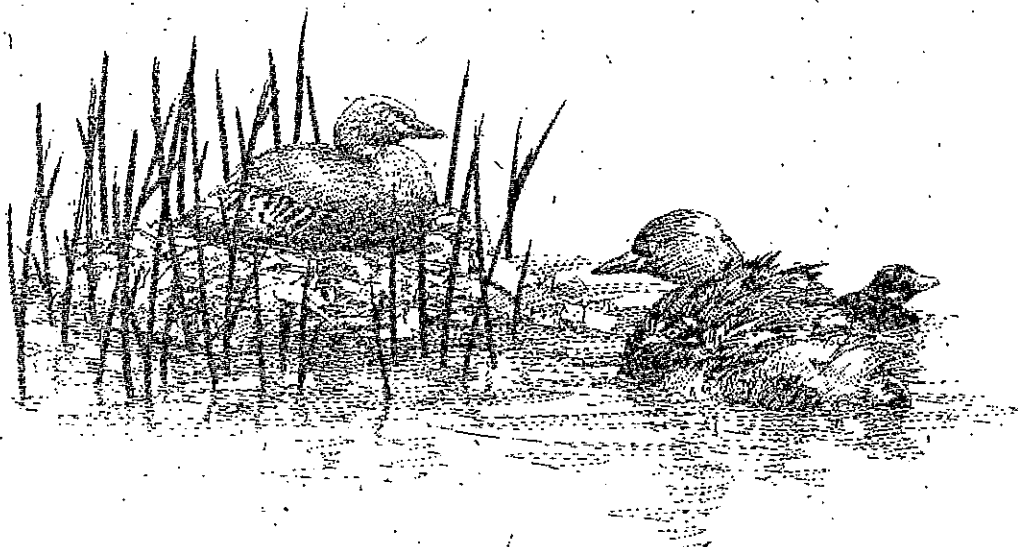
| | | |
|---|--------|--|
| 1 | 種別 | 第3種空港(地方公共団体が設置・管理する空港) |
| 2 | 名称 | びわこ空港 |
| 3 | 位置 | 蒲生郡蒲生町・日野町 |
| 4 | 設置・管理者 | 滋賀県 |
| 5 | 開港予定年次 | 平成17年度 |
| 6 | 空港本体面積 | 約180ha |
| 7 | 滑走路 | 長さ2,000m |
| 8 | 概算事業費 | 約1,580億円(うち 空港建設 約470億円) |
| 9 | 需要予測 | 開港時(H17) 約76万人/年(4路線 13往復/日) 10年後(H27) 約125万人/年(6路線 18往復/日) |

〇〇自治会の皆様へ

初秋の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は県政各般にわたりご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、びわこ空港整備については、滋賀県の将来の持続的な発展のために極めて重要な基幹交通基盤であるという認識のもと、蒲生・日野地区を候補地として、調査・検討をしまいましたが、環境アセスメント等の調査の実施について、ひとまず見合わせざるを得ない状況にあったことなどから、平成12年に「立ち止まって考える」という総合的判断を行いました。



その後、平成17年の財政危機回避のための改革プログラムの策定において、凍結という判断を示し、現在に至っております。

しかしながら、総合的判断から10余年を経た今、「空港については離島を除き新設を抑制する」という国の方針や、先発する地方空港の厳しい状況などを見ますと、近い将来、こうした状況が好転し、空港整備に再び取り組めるようになることは期待できません。

びわこ空港の整備について、長年にわたり、地域の中や集落の中、また、ご家族、ご友人の間においても、賛成・反対に別れての議論となり、まさに地域を二分するような状況になったにもかかわらず、その後も結論を得ることなく、長い間凍結状態を続けてまいりましたが、もうこれ以上判断を先延ばしすることは許されないと考えます。そのため、この度、びわこ空港等計画（案）を白紙に戻すこととしました。



これまでの間、地元地域の皆様には、多大なご心労をお掛けしてまいりましたことを心からお詫び申し上げます。

今後におきましては、本県の経済成長と社会成長を目指し、市町と力を合わせながら、滋賀の更なる発展に努めてまいる所存です。

皆様におかれましては、今後とも、県政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年 9月18日

滋賀県知事

嘉田由紀子

